

資料4

能登半島地震 被災地派遣報告

令和6年9月5日時点

令和6年 能登半島地震の被害

2024年1月1日午後4時10分、能登地方で発生した最大震度7の地震は、奥能登を中心に甚大かつ広範囲な被害を及ぼしました。

データで知る能登半島地震

M7.6
最大震度7

死者 **358**人

行方不明者 **3**人

負傷者 **1,211**人

住家被害 **84,005**棟

避難者 **34,173**人

停電 **39,900**戸

携帯支障 **70~80%**

断水 **110,000**戸

平成19年能登半島地震の被害

- 地震規模 M6.9 (最大震度6強)
- 死者 1人
- 負傷者 338人
- 住家被害 29,382棟

輪島市 最大震度 7

人口 21,903人
世帯数 9,235世帯

死者 150人
負傷者 516人
住家被害 10,383棟

志賀町 最大震度 7

人口 17,239人
世帯数 7,296世帯

死者 12人
負傷者 104人
住家被害 7,419棟

道路が崩壊し、奥能登へのアクセスが困難

緊急警報する道路では最大4段階の力で通行止め (1月4日時点)

金沢～能登間の道路通行状況

△=道路に大きな被害



震央
2024年1月1日午後4時10分、奥能登半島で発生した最大震度7の地震

奥能登半島で、甚大かつ広範囲な被害を及ぼしました。

奥能登半島で、甚大かつ広範囲な被害を及ぼしました。



写真で見る被害状況



珠洲市 最大震度 6強

人口 11,721人
世帯数 5,283世帯

死者 126人
負傷者 249人
住家被害 5,532棟

能登町 最大震度 6強

人口 14,277人
世帯数 6,206世帯

死者 25人
負傷者 51人
住家被害 5,688棟

七尾市 最大震度 6強

人口 47,198人
世帯数 20,075世帯

死者 14人
負傷者 3人
住家被害 15,713棟

人口・世帯数は1月1日時点

死者・負傷者・住家被害は集計中と見られる被害者の状況について、第157期(9月5日時点)より

出典:石川県ホームページ

保健師班派遣について

【経緯】

- 2024年1月3日(水) 厚労省からDHEATおよび保健師班の応援派遣(1/9～)要請あり。
- 1月4日(木) 東京都保健政策部から、いずれも1/9以降の派遣に向けて調整中の旨回答。厚労省からDHEAT及び保健師班ともに充足した旨連絡あり。
- 1月5日(金) 夕方、厚労省から保健師班の追加応援派遣(1/9～)要請あり。東京都から1/10からの活動開始可能として派遣体制を回答。
- 1月9日(火) 東京都保健師班(第1班)現地到着
- 1月10日(水) 活動開始

【派遣の目的】

避難所における住民の健康管理・衛生管理等業務 等

【派遣の根拠】

災害対策基本法 第67条、第68条及び第74条

町田市による派遣の概要

【期 間】 2024年2月8日(木)～2月13日(火) 5泊6日

【派遣先】 石川県金沢市 いしかわ総合スポーツセンター(1.5次避難所)

【班構成】 保健師5名、業務調整員1名

【保健師】 避難所における入所者の健康観察、衛生管理業務など
(新規入所者の問診、入所者の健康観察、要支援者に対する関係団体との調整、避難所の感染対策と衛生管理、二次避難所への予定者に対するADLチェック(スクリーニング))

【ロ ジ】 入所者台帳の管理
チームのスケジュール管理
日報作成及び共有
荷物や資材の管理
スクリーニング
メールの確認
保健師業務のサポート
その他

1.5次避難所 入所者内訳 (2024/2/13本部会議資料から抜粋)

いしかわ総合スポーツセンターメインアリーナ	6歳未満	6歳以上～18歳以下	65歳以上	高齢化率	全体
累計入所者	24	46	711	68.2%	1042
現在入所者	0	0	115	86.5%	133
産業展示館2号館	6歳未満	6歳以上～18歳以下	65歳以上	高齢化率	全体
累計入所者	1	2	207	71.1%	291
現在入所者	0	1	45	75.0%	60
小松市総合体育館(2/8閉鎖)	6歳未満	6歳以上～18歳以下	65歳以上	高齢化率	全体
累計入所者	1	2	27	64.3%	42
現在入所者	0	0	0	0	0
サブアリーナマルチパーパス	定員	入所者数			
累計入所者	120	73			
現在入所者	40	13			

1.5次避難所は上記4施設で構成

いしかわ総合スポーツセンターメインアリーナの入退所者数

新規入所者数		新規退所者数	入所者数
2/1	10	20	179
2/2	2	9	172
2/3	7	4	175
2/4	8	7	176
2/5	5	7	174
2/6	1	5	170
2/7	5	7	168
2/8	3	5	166
2/9	2	5	163
2/10	2	5	156
2/11	0	12	144
2/12	0	11	133
2/13	10		

退所先は保健師チームでは未把握

いしかわ総合スポーツセンター外観



メインアリーナ入口
アリーナ内は土足厳禁、写真撮影不可



保健師はメインアリーナで活動
赤枠（サブ、マルチ）は要介護者が入所



メインアリーナ (新規入所者が経由)

室内環境

温度24~26度

湿度20~30%

- ・ 2/9 食堂ブース、テレビ2台が設置された
- ・ 2/13 時点で133名入所 (使用テント112張り、残りテント119張り)



メインアリーナ内の写真



キッズスペース



ゴミ捨て場



パイプベッドと段ボールベッド



倉庫（物資保管）

メインアリーナの支援チーム

分野	団体名
医療	看護協会(災害支援ナース)
	県薬剤師会
	DHEAT
	MSW
	保健師
福祉	JRAT
	DWAT

※医師待機、随時歯科医師会

本部調整会議資料より抜粋

	2月10日	2月13日
入所者数	162人	133人
使用テント数 (残テント数)	135張り (96張り)	112張り (119張り)
(入所期間の内訳) 10日以上入所者数 (%)	127人 (78.4%)	118人 (88.7%)
20日以上入所者数 (%)	82人 (50.6%)	79人 (59.4%)
30日以上入所者数 (%)	5人 (3.0%)	10人 (7.5%)

1日の活動

※随時新規入所者の問診(入所エリアが担当)

時間	統括 ※随時会議参加	Aシフト	Bシフト
8:30	・活動開始	・活動開始	
		・看護師夜勤申し送り ・入浴者などバイタル測定	
9:00	・本部ミーティング参加		
9:30	・保健師リーダーミーティング	・保健師リーダーミーティング	
10:30		・Bシフトへの情報共有、活動計画の確認	・活動開始 ・Aシフトからの引継ぎ ・感染症ラウンド、トイレ消毒
11:00~15:00	休憩(交代)	休憩(交代)	休憩(交代)
14:00		・課題解決会議(火・金曜日) (保健医療福祉調整会議) ・二次スクリーニング(随時)	
15:00	・リーダー会議	・リーダー会議	・リーダー会議 ・感染症ラウンド ・有症状者専用トイレ消毒
16:00		・エリアミーティング	・エリアミーティング
17:15		・活動終了	・カルテ整理
18:00	・統括業務の引継ぎ		・統括業務の引継ぎ
19:15	・看護師チームへの夜間健康観察依頼入所者を申し送り ・活動終了		・活動終了

入退所の管理 毎日リーダーが突合、
変更箇所は業務調整員(ロジ)に報告

相談窓口の周知



(個人に関する情報は、チーム
 エリア担当チーム(ロジ)に
 声をかけてください。
 ・保健師チームへの情報提供
 共有、相談、連携に関す
 ることは、保健師チームに声を
 かけてください。

**保健師
窓口**

ロジ	担当者	担当チーム
A	う・えさく さ・しそに	東京
D	ねのふへ かむやゆ	千葉
ロジ	担当者	担当チーム
B	おかげこ おせあつな	京都 香川
C	下平に和加 佐藤中かき	秋田 松本

エリア入所者の管理



多職種とのミーティング



感染症患者はホワイトボードに氏名と解除日を記載して共有

	Aエリア	Bエリア	Cエリア	Dエリア
2月11日	新型コロナ1	新型コロナ6	新型コロナ2 嘔吐下痢1	嘔吐下痢1
2月12日	嘔吐下痢2	新型コロナ4	嘔吐下痢1	新型コロナ1
2月13日	嘔吐下痢2	新型コロナ1	嘔吐下痢1	新型コロナ1



被災地派遣の経験を次につなげていくために

被災地における保健師活動の経験を共有

開催日時	2024年11月11日(月曜日)午後1時30分から午後3時30分 「第2回町田市保健師業務連絡会全体会内」で60分
対象	庁内の保健師
テーマ 講師	「能登半島地震 被災地派遣報告」 被災地派遣経験者 保健予防課 保健師 2名
会場	町田市保健所中町庁舎 研修棟
内容	1. 講話 ・ 活動の概要 ・ 入居者の状況 ・ 保健活動の実際 ・ 活動時に印象に残ったこと、困ったこと ・ 活動の準備として必要と感じたこと 2. グループワーク・質疑応答 (1)発表を聞いて感じたこと、考えたこと (2)日頃からどんな準備が必要だと感じたか

1G~5Gのグループワーク

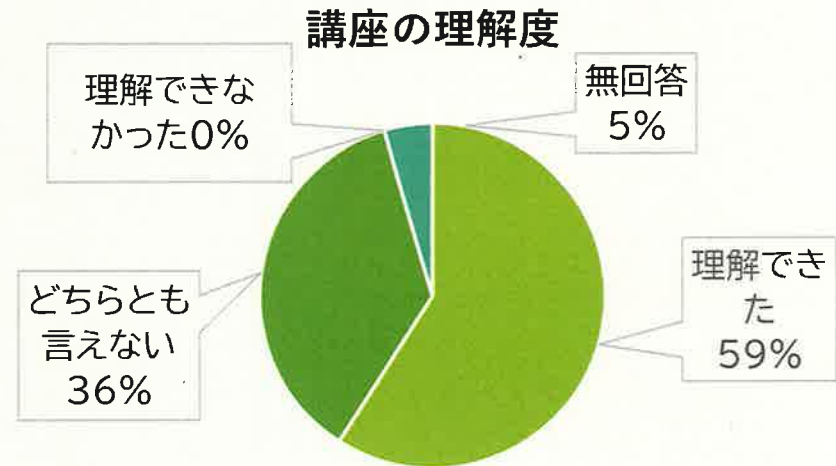
必要なこと	日頃からどんな準備が必要だと感じたか
平時の準備	<ul style="list-style-type: none">・普段から災害派遣に行くことを見据えた情報収集が必要。・平常時も災害時のことを話す機会を作る。・初動、どのように動くかをイメージできるようにする。 集まった人で役割を決めていく。・日頃から訓練に参加する。
災害時マニュアルの確認	<ul style="list-style-type: none">・マニュアルに目を通す。・保健師災害マニュアルを読む。・マニュアルを保健師間で共有し、年に2回くらい見直せると良い。
感染症対策	<ul style="list-style-type: none">・感染症対策の知識を身につけておく。
各フェーズの役割	<ul style="list-style-type: none">・高齢者が多いため廃用の知識等の高齢者についての知識習得。・フェーズごとに役割が異なることを頭に入れる。
関係構築	<ul style="list-style-type: none">・行くメンバーでの関係構築。・協調性が大事だと思った。
自身の健康管理	<ul style="list-style-type: none">・体調管理(体力大事)。・体力と精神力を鍛えておく必要がある。

第2回町田市業務連絡会全体会能登半島被災地派遣報告 アンケート(2024.11.11) 集計結果

参加人数 28名
アンケート回収人数 22名
アンケート回収率 79%

①派遣に行く場合に必要な知識を理解することができましたか。

講座の理解度	人数
理解できた	13
どちらとも言えない	8
理解できなかった	0
無回答	1



②ご自身が保健師として派遣に行く意識が高まりましたか。

講座の満足度	人数
意識が高まった	16
どちらとも言えない	6
意識が高まらなかった	0

